

# 日立ガステーブル保証書

出張修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。  
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼のうえ本書をご提示ください。

※形名	※お買い上げ日		保証期間
	平成 年 月 日		本体：1年
※お客様	ご住所	〒	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	電話 ( )	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。  
 (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。  
 (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。  
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常ガス圧、指定外ガスでの使用による故障または損傷。  
 (ニ) 本書のご提示がない場合。  
 (ホ) 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えた場合。  
 (ヘ) ご転居等による熱量変更に伴う改造や調整。
  2. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
  3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
  4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
  5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
  6. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。
- 修理メモ

日立家電販賣株式會社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12 TEL(03)502-2111

NB24387-A 10(M)

# 取扱説明書

保証書付  
裏表紙が保証書になっています

正しく使って上手に節約

# 日立ガステーブル

〈ガスグリル付二口こんろ〉

# GHG-3FD・GHG-3FE

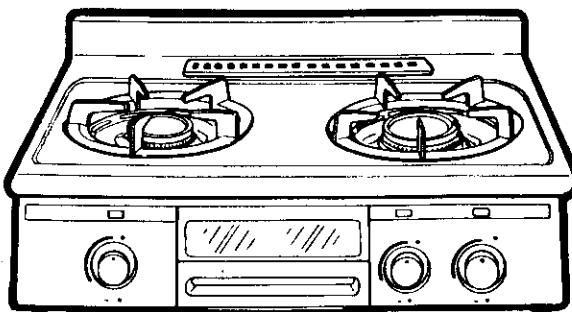
このたびは、日立ガステーブル〈グリル付〉をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

なお、お読みになつたあとは、「ご想談窓口一覧表」とともに大切に保存してください。

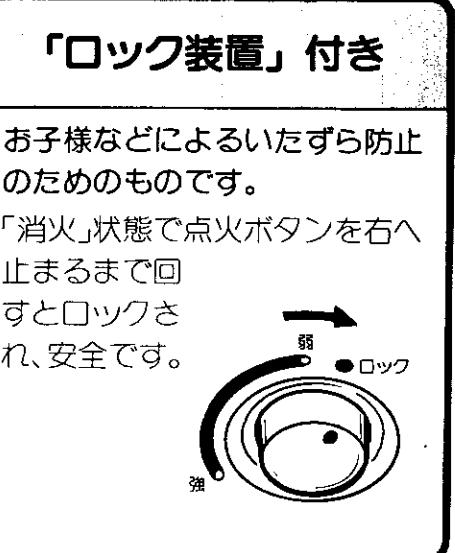
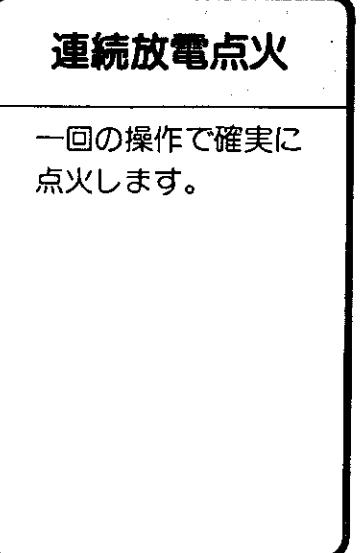
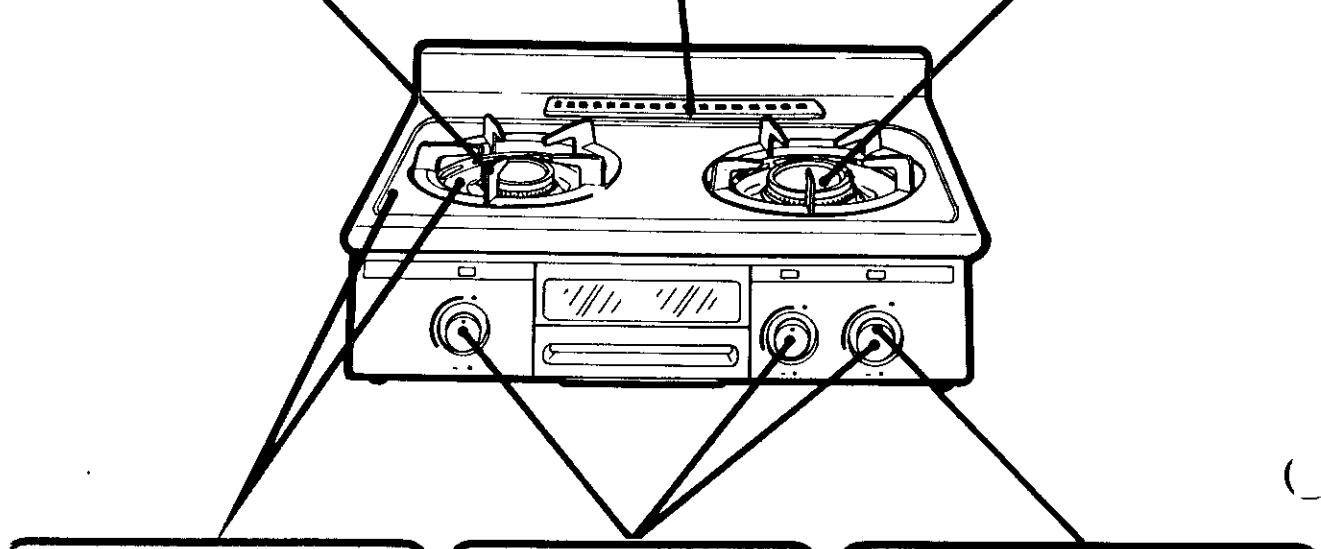
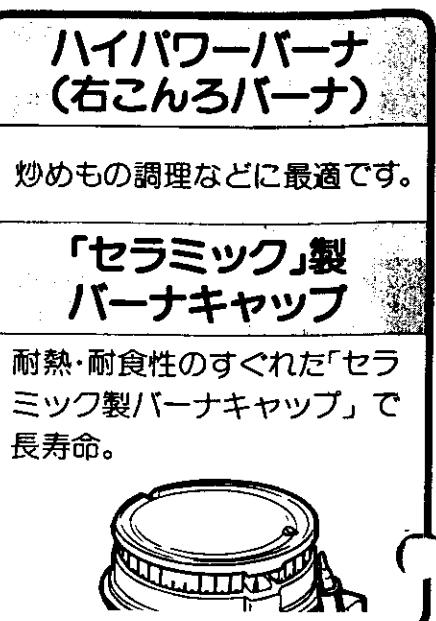
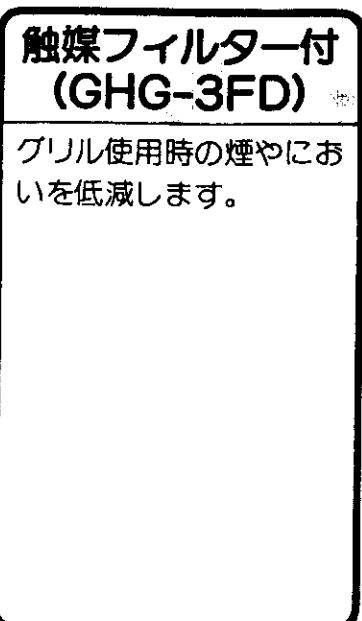
## 目次

■ガステーブルの特長	1
■各部の名称とはたらき	2
■特に注意していただきたいこと	3~4
●使用ガスについて	3
●火災予防	3
●ガス事故防止	3
●使用上の注意	4
●換気にご注意	4
●異常時の処置	4
■器具の設置	5~6
●設置前の準備	5
●設置の方法	6
■使用方法	6~8
●こんろの使いかた	7
●グリルの使いかた	8
■器具の上手な使いかた	9
■日常の点検・手入れ	9~10
●点検	9
●手入れ	10
■故障・異常の見分け方と処置方法	11~12
●異常または故障の場合の処置方法	11
●安全装置が作動したときの処置方法	12
■長期間使用しない場合	12
■仕様	13
■アフターサービス	14



GHG-3FD

# ガステーブルの特長



# 各部の名称と仕事

## ■外観・構造

### グリル排気口ふた

GHG-3FDのみ内部に触媒フィルターが付いています。

### 左こんろバーナ

### 電池ケース (背面にあります)

### ごとく

ごとくの切欠き部(2ヶ所)を、トッププレート側の凸部に合わせて取付ける

### しる受け皿 (ホーロー製)

### トッププレート (ホーロー製)

### 右こんろバーナ

### 銘板

### グリル器具せん用 点火ボタン

### 右こんろ器具せん用 点火ボタン

### 左こんろ器具せん用 点火ボタン

### グリルケース

### グリルドア

グリル水入れ皿から外して丸洗いできます。  
着脱式グリルドア

### グリルバーナ (内部にあります)

### グリル焼網

### グリル水入れざら

途中の止まるところまで引き出して、焼くものの出し入れ、反転などができます。  
《引き出し式グリル皿》

### ●付属品

単1乾電池  
(1.5V:1個)

### バーナキャップ

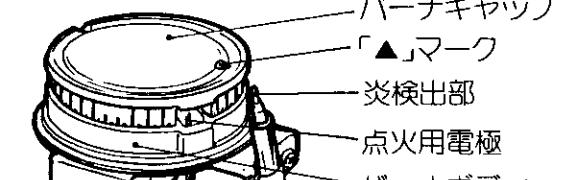
### 「▲」マーク

### 炎検出部

### 点火用電極

### バーナボディ

## ■こんろバーナ部



●こんろバーナのバーナキャップを取付ける際は、バーナキャップ上面の「▲」マークを「炎検出部」の位置方向に合わせてください。  
また、落としたり衝撃を与えると割れことがあります。取扱いには注意してください。

# 特に注意していただきたいこと

## 使用ガスについて

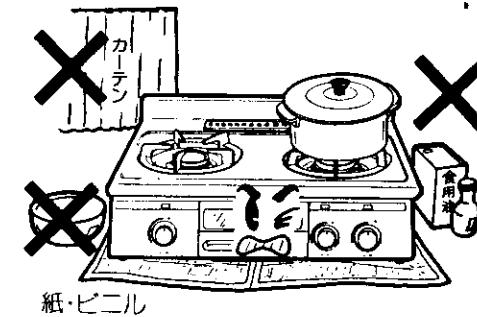
器体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。  
(銘板は器具の右側面に貼ってあります)  
(銘板の例)



●都市ガスには13種類あります。  
(13ページ参照)

## 火災予防

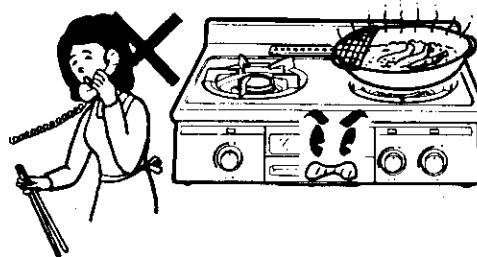
1 器具の上や周囲には、燃えやすいものを置かないでください。



紙・ビニル

2 火をつけたまま器具の使用場所をはなれないでください。

特に天ぷら揚げをしているときは危険です。



3 火をつけたまま、お出かけ、おやすみは、絶対にしないでください。

## ガス事故防止

1 ゴム管は、新しいガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。



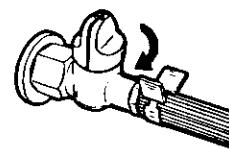
●ゴム管は、少なくとも1ヶ月に1回は点検し、ひび割れしたり、弾力がなくなったりしている場合は、新しいものと交換してください。



2 使用時の点火・消火のほか、使用中にもときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

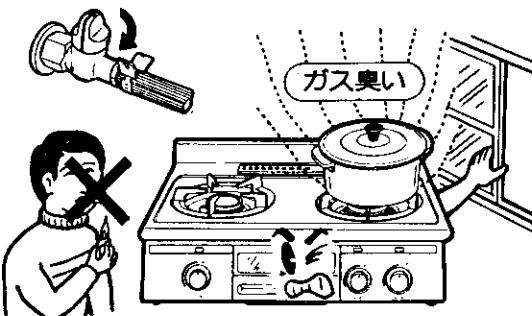
3 使用後は、必ず消火したことを確かめてください。

また、お出かけや、おやすみの際には、必ずガス元栓も閉じてください。



4 ガス漏れに気付いたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉じ、窓や戸を全部あけてガスを外へ出してから、漏れの原因を調べてください。

おわかりにならないときは、お買い求めの販売店やガス供給業者に連絡してください。



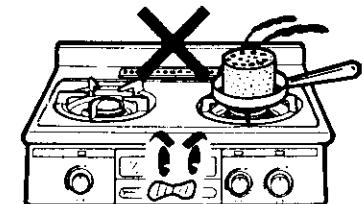
●ガス漏れ事故予防のため、市販のガス漏れ警報器の設置をおすすめします。  
詳しくはガス供給業者とご相談ください。

5 万が一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具のスイッチの入・切はしないでください。

火や火花でガスに引火し、爆発事故を起こす危険があります。

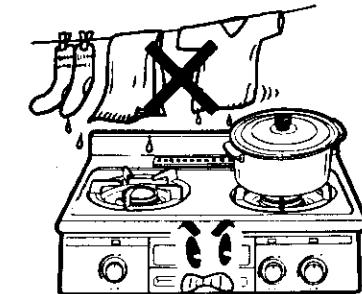
## 使用上の注意

1 調理以外の用途(炭・練炭おこし等)には使用しないでください。



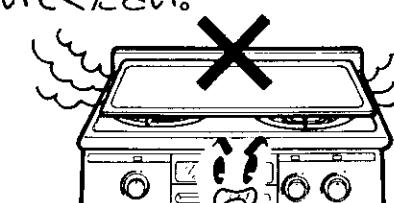
●過熱や異常燃焼による焼損・火災などの危険があります。

2 衣類の乾燥などに使用しないでください。



●衣類が落として火がつき、火災になることがあります。

3 こんなを覆ってしまうような不良補助具や、大きな鉄板、陶板類、市販のガス節約器、上のせんべいなどは使用しないでください。



●不完全燃焼による中毒・過熱や異常燃焼による器具の焼損・火災等の危険があります。

4 市販のアルミ箔のマット(ガスマット)は、絶対に使用しないでください。

●しる受け皿外周部の穴や、バーナボディとのスキマがふさがれると、不完全燃焼して、一酸化炭素中毒の原因となります。

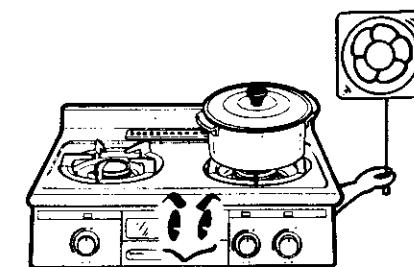
5 使用中や使用直後は、器具の各部分が高温になってありますので、点火ボタンやグリルとて以外の部分には手など触れないでください。

●やけどのおそれがあります。

## 換気にご注意

ご使用と同時に換気扇を回すなど、換気には十分注意してください。

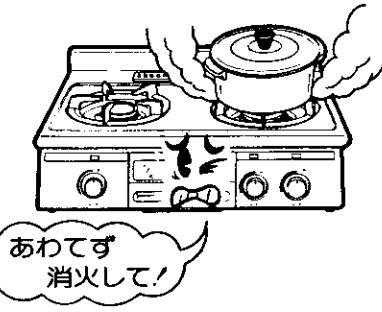
閉め切った部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼により一酸化炭素中毒の危険があります。



●ガストーブ等、他の燃焼器具を同時に使用したときは、特に酸素不足になりますので、必ず換気してください。

## 異常時の処置

1 万一異常燃焼(ゴーゴー音をたてて燃えるなど)を起こしたときや緊急の場合は、あわてずに消火し、ガス元栓を閉じてください。



2 煮こぼれは、バーナ部や器具を早くためますので、十分注意してください。  
万一、バーナに煮こぼれがかかるときは、その都度バーナキャップを外して、ブラシなどで掃除してください。

●煮こぼれで目詰りしたバーナをそのまま使用しますと、不完全燃焼や、生ガスが出たり、炎が逆流して器具を焼損するおそれがあります。

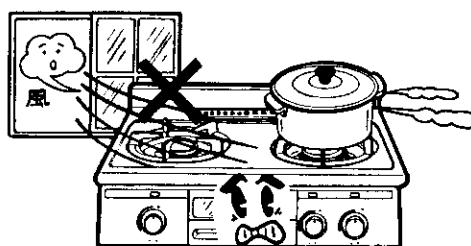
## 設置前の準備

### 1 包装材を取り除きます。

- ①包装材を取り除き、2ページ「各部の名称」を参照して器具を組立ててください。
- ②しる受け皿、バーナキャップ、ごとく、グリル排気口ふた、乾電池などが、本体に正しくセットされていることを確かめてください。  
(しる受け皿、バーナキャップは、左右専用です。)

### 2 設置場所についてのご注意

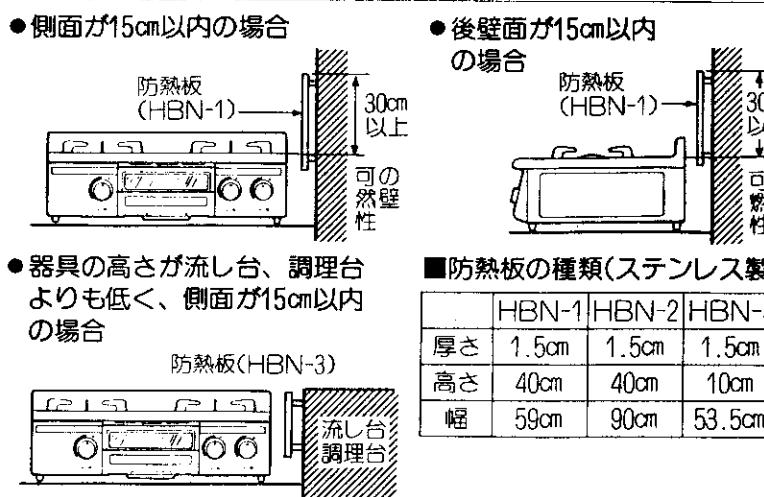
- ①次のような場所には設置しないでください。
  - 風の吹き込むところ。
  - 棚の下などで落下物の危険のあるところ。
  - カーテンや燃えやすいものの近く。



- ②家具、壁、その他の可燃物から十分離れている場所に設置してください。
- ③換気(給気・排気)が十分できるところに設置するか、換気できるようにしてご使用ください。

### ●防熱板による防火措置

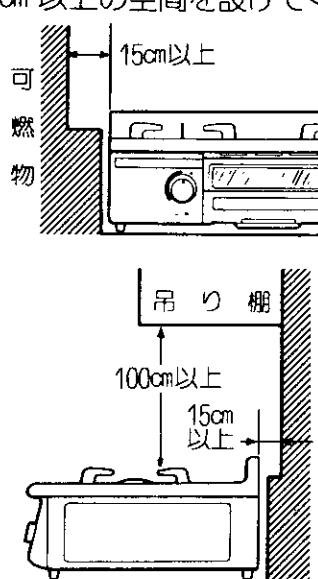
壁面などとの間隔を15cm以上離せない場合は、防熱板(別売品)を下図の要領で取付けてください。なお、可燃性材料と防熱板との間には1cm以上の空間を設けてください。



### 3 周囲の防火措置について

器具は可燃物(壁面など)から15cm以上離して設置してください。ピッタリ付けて設置しますと、壁面などの温度が上がり、危険です。(特にハイパワーバーナ側に注意)してください。

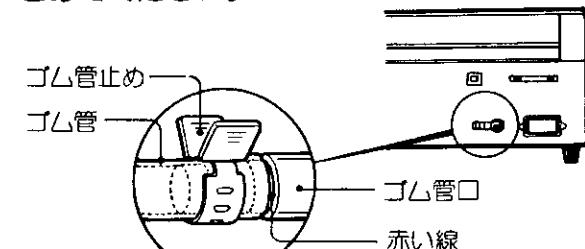
また、上部に吊り棚などがある場合は、器具上面と吊り棚との間に100cm以上の空間を設けてください。



## 設置の方法

### ■ゴム管の接続

ゴム管を、ゴム管口やゴム管内にごみなどが付着していないことを確かめてからゴム管口の赤い線まで差し込み、ゴム管止めで確実にとめてください。

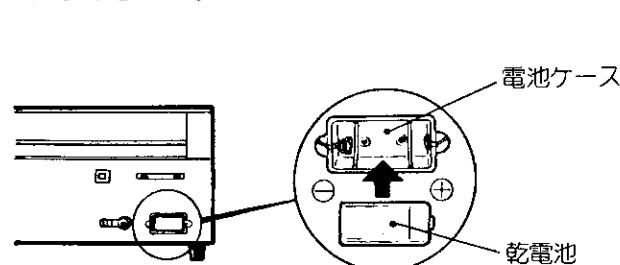


- ゴム管止めは、別売品カガス会社、LPGガス業者の指定品を使用してください。
- ガス用ゴム管には、LPGガス用と都市ガス用があります。使用ガスに合ったものを使いください。
- 古いゴム管は、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんだりしやすく、ガス漏れするおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ゴム管の継ぎたしや二又分岐は絶対にしないでください。
- ゴム管は、折れたり、ねじれたりしないよう、できるだけ短かく(2m以下で適当にゆとりをもたせる)、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてください。

### ■乾電池の取付け

器具の背面左側に電池ケースがあります。

- ①側と②側をまちがえぬよう、確実にはめ込んでください。



- 電池は単1乾電池(1.5V)1個使用です。

## 使用前の準備と確認

- ①器具周辺に、紙、プラスチック、油類など、燃えやすいものが置いてないか、確認してください。

- ②すべての点火ボタンが「消火」になっていることを確かめ、ガス元栓を全開にしてください。

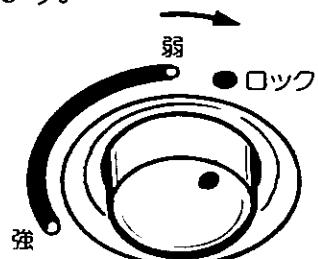
- ③このガステーブルは、空気調節の必要はありません。そのまま使用できるよう、あらかじめ調節してあります。

### ロック機構について

いたずらなどによる誤使用を防止するため、点火ボタンを押しても点火しない「ロック装置」が付いています。安全のため、上手に活用してください。

### ■ロックのしかた

「消火」状態で点火ボタンを「カチッ」と音がして止まるまで右へ回すと、ロックされて点火しなくなります。



- 点火ボタンを元の位置(左)に回すとロックは解除します。

初めてご使用になると、各バーナなどに付いている油が燃え、煙の出ることがあります。異常ではありません。

## こんろの使いかた

## ■点火

- 1 点火ボタンが「ロック」されているときはロックを解除してください。

- 2 なべ等をのせ、点火ボタンを止まるまでイッパイに押します。「パチパチ」と音がしてバーナに着火します。



- バーナへ点火した後、そのまま数秒間(安全装置がセットするまで)押し続けてください。
- 「強」から「弱」のどの位置でも点火できますが、火力が強い位置で点火した方が安全装置のセット時間が短くなります。
- 点火ボタンを押している間は若干火力は強くなっていますが、手をはなすとセッショナルした火力になります。

- 3 静かに手をはなし(点火ボタンが手前に出てくる)、バーナへの着火を確認します。

- いつたん着火しても、手をはなすと消えてしまうときは、点火ボタンを押して「消火」にして再度点火ボタンを押してください。
- 立消え安全装置の炎換出部やその付近の炎口に水滴や煮こぼれが付いたままで、点火に時間がかかるたり、点火しないことがありますので必ずふきとつください。

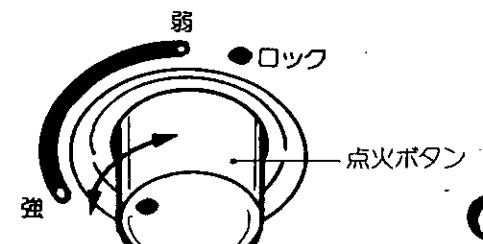
## ご注意

- 点火ボタンをイッパイに押さないと、立消え安全装置がセットされず、手をはなすと火が消えてしまいます。
- 初めて点火するときは、ゴム管内に空気が入っているため着火しにくいことがあります。着火するまで点火ボタンを押し続けてください。
- 「ロック」されているとき点火ボタンを無理に押さないでください。  
故障の原因になります。

## ■火力調節

炎を見ながら、点火ボタンをゆっくり回して調節してください。

右へ回すにしたがって火力は弱くなり、「弱」位置で最も弱くなります。

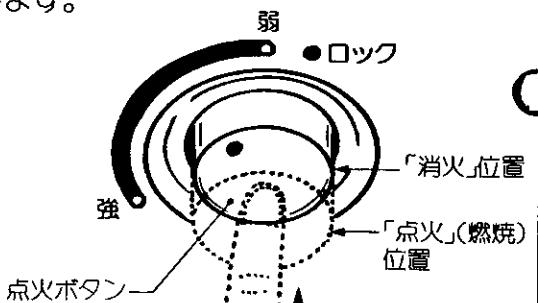


## ご注意

- 点火ボタンを、す早く回すと消火することがあります。
- 「弱」位置でご使用のときは、風などによる炎の吹き消えに注意してください。

## ■消火

点火ボタンをイッパイに押します。点火ボタンが「消火」の位置に戻り、消火します。



## ご注意

- 消火したことを、必ず確認してください。
- お子様がいるご家庭などでは、念のため点火ボタンを「ロック」位置に合わせておけば安全です。
- 再点火は、消火操作後5~6秒待ってから行ってください。

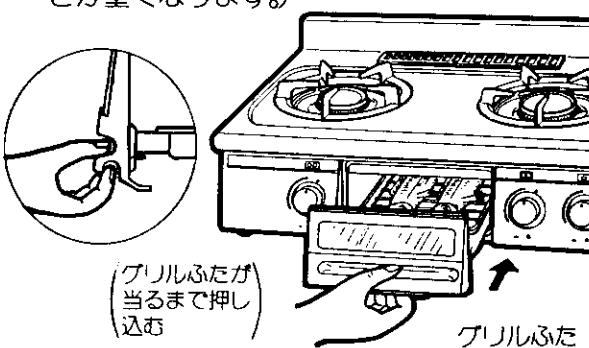
## グリルの使いかた

## ■点火前の準備

- 1 グリル水入れざらにカップ1杯(200cc)ほどの水を入れます。

●水を入れないと使用すると、床面の過熱や魚などから出た脂に引火するがありますので、ご注意ください。

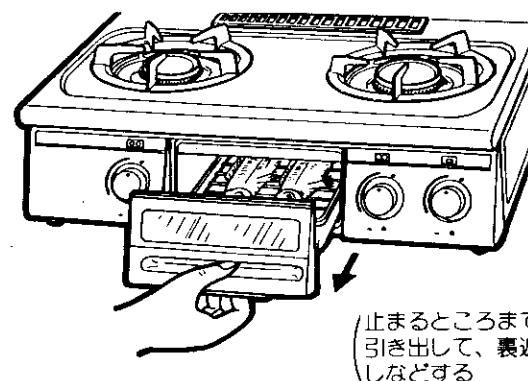
- 2 グリル焼網の上に魚など焼くものをのせ、グリル水入れざらをグリルケース内に差し込み、グリルふたが器体に突き当るまで押し込みます。(突き当る寸前で少し動きが重くなります)



## グリル水入れざらの取扱いについて

- 引き出しますと途中で止まるところがあります。

その止まるところまで引き出して焼けぐあいを見たり、裏返ししたりします。



- 取り出すときは、止まったところで少し持ち上げて引き出せば外れます。
- 熱いグリル水入れざらを持ち運ぶときは、グリルとて以外には触れないよう注意してください。

## ■点火・消火

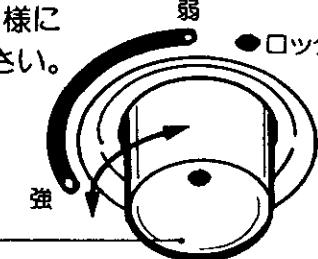
グリル用の点火ボタン(一番右のボタン)で、「こんろの使いかた」と同様に操作してください。



- バーナへ点火した後、そのまま数秒間(安全装置がセットするまで)押し続けてください。(セラミックプレートバーナのため、少し時間がかかります)
- なお、火力が強い位置で点火した方が安全装置のセット時間が短くなります。
- 使用後のバーナの消火を忘れないでください。

## ■火力調節

グリル用の点火ボタンにより、「こんろの使いかた」と同様に調節してください。

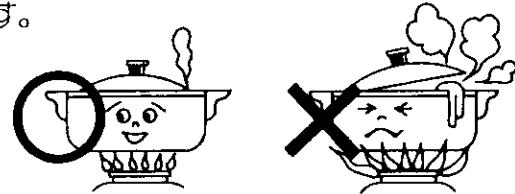


## グリル使用時のご注意

- グリルふた付近が熱くなりますので、グリルとてや、ボタン以外の部分には手を触れないでください。焼け具合を見る際にも顔を近づけすぎないようにしてください。
- グリルバーナはセラミックプレートを使用していますので、赤熱するまでに少し時間がかかります。
- 触媒フィルターには、煮こぼれ等がかかるないようにしてください。  
(万一、ごみ等が落ちたときは、ハシなどでそつと取り除いてください)
- 触媒フィルターは煙や臭いを低減しますが、一度に多量に出ますと浄化しきれません。
- グリル排気口をふさがないでください。

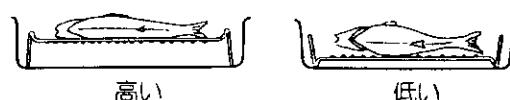
### こんろ

- 鍋に合った火力で使いましょう。  
炎の先端が鍋底に当たる程度が最適です。それ以上大きくするのはガスのムダになります。
- 一度煮たちましたら、沸騰が続く程度の火力にしほってお使いください。  
煮こぼれの防止と、ムダなくガスをお使いいただけます。
- 右こんろ使用時、「弱」の位置でも火力が強すぎる場合は、左こんろにのせなおしてお使いください。
- 鍋をこんろにかける前に鍋底の水気をふきとりましょう。  
水分が付着していると、余分な熱が必要になります。
- 右こんろは火力が強くバーナキャップも大きいため、小さい鍋では外側が加熱され、また焼き物などでは中央が焼けにくくなります。このときは左こんろを使用してください。



### グリル

- グリル焼網は、反転すると高さが変わりますので、焼くものの厚さ、焼き方などによって高さを変えてお使いください。
- 薄い魚の場合は焼網を高くする  
厚い魚の場合は焼網を裏返して低くする
- 魚の大きさにもよりますが、通常は魚の頭を奥にした方が良く焼けます。
- 点火後2~3分予熱してから材料を入れると、おいしく焼け、焼き上がり後材料が取り出しがやすくなります。
- 魚はこげやすい尾やひれの部分に、厚目に塩をふっておくか、アルミ箔で包んでおくと、こげ方が少なくなります。
- 魚はほどよい焼き色になつたら、裏返して焼き上げてください。  
なお、裏を焼いてから再度おもて側を焼きますと、おいしく焼き上がります。

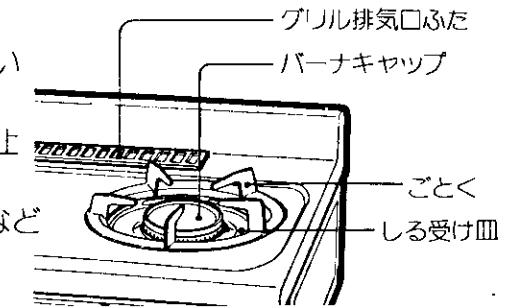


## 日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは、必ず行ってください。
- 不完全な修理は危険です。万一ぐいが悪くなつて処置に困るような場合は、お買い求めになつた販売店またはガス供給業者にご相談ください。
- 点検・手入れの前には、必ずガス元栓を閉じてから行ってください。

### 点検

- 器具の周囲に燃えやすいものが置いてありませんか。
- ゴム管が古くなつて、ひび割れしたり、折れたりしていませんか。
- ゴム管が、ゴム管口の赤い線まで差し込まれ、ゴム管止めでしっかりと止めてありますか。
- バーナボディ、バーナキャップ、しる受け皿、ごとくなどが、正しくセットされていますか。
- 乾電池は消耗品です。  
パチパチというスパークの回数が遅くなりましたら(1秒間に1~2回)、電池が消耗しておりますので、新しい乾電池と交換してください。



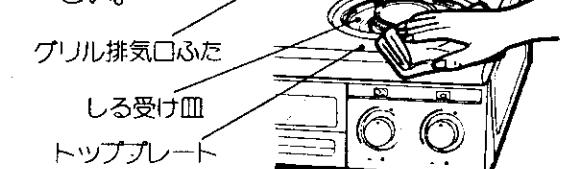
### 手入れ

器具は常に清潔にしてご使用ください。

#### 1 器具の表面部

- しる受け皿、ごとく、グリル排気口ふたは、外して掃除してください。

- 使用直後は高温になつていますのでご注意ください。



- トッププレートは乾いた布でよくふいてください。

汚れの落ちにくいときは、中性洗剤で手入れした後、水けをきれいにふきとつておいてください。

- かたいものを当てるときホーローが欠けることもありますので、注意してください。

#### 2 グリル内部

- グリル水入れざらやグリル焼網は、使用的都度引き出して、掃除してください。

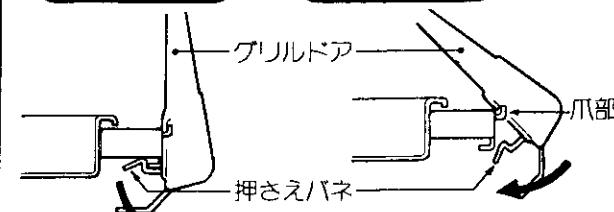


(グリル水入れざらが汚れたまま使い続けますと、落ちた油やかすに火が移り、器具の焼損や火災のおそれがあります。

- グリルドアは取り外せます。

取り外しかた

取り付けかた



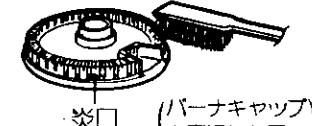
- 押さえバネ部を矢印方向に引く

●グリル水入れざらの爪部(2ヶ所)をグリルドアの角穴に差し込み、矢印方向に回して「パチン」とはめ込む

- グリルケースのよごれもきれいに掃除してください。

#### 3 こんろバーナ

バーナに煮こぼれがかかつたときは、その都度バーナキャップを外してブラシなどで掃除してください。  
キリなどでこじると歯こぼれします。



- 落としたり、硬いものにぶつけたりしないでください。

●汚れは早目に掃除をし、水洗いをした場合は、完全に乾かしてから取り付けてください。

- バーナキャップは、浮き上がりや傾きのないよう、正しく取付けてください。



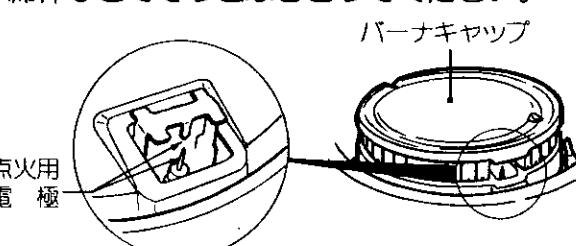
- バーナキャップに付いている矢印を、炎検出部の方に向ければ、正しくセットできます。

●バーナキャップの炎口部が歯こぼれしたり、割れたときは、新しい部品と交換してください。

●煮こぼれのこびり付きなどでバーナキャップが外れない場合、無理に外しても正しくセットできません。とりあえずは炎口のつまりを取り除いて使用し、早目に修理(バーナの交換)を販売店に依頼してください。

#### 4 点火用電極

点火用電極に煮こぼれがかかつて点火しなくなつたときは、バーナキャップを外し、綿棒などでそつとふきとつてください。



- 掃除中は点火操作しないでください。  
(感電するおそれがあります)

### 異常または故障の場合の処置方法

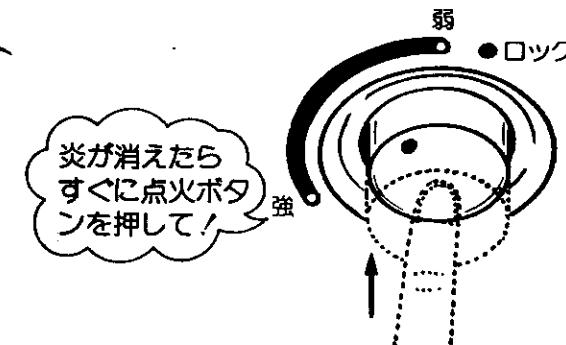
現象	原因	処置方法	参考ページ
点火しない	ガス元栓の開け忘れか開きが不十分 ゴム管内に空気が残っている ガスが少なくなっている(LPGガス) 器具の銘板に表示のガスと使用ガスが不一致 ガス圧が適切でない 点火操作が適切でない 点火器電極部のよごれ バーナの炎口詰まり 空気調節が適切でない 立消え安全装置が作動 立消え安全装置の故障 ゴム管の折れ曲がり、つぶれ ゴム管のひび割れ、穴あき ゴム管の接続が不完全 バーナキャップの取り付けが不完全 器具せんの故障 ノズルのつまり 電池が消耗しているか、または取付けが不完全 点火ボタンが、ロック位置になっている	消火操作をしてからガス元栓を全開にする ガスが正常に出るまで、十分注意しながら使用する 新しいポンペに替える 販売店に連絡する 他の器具も同様の場合は、点検を依頼する 正しい点火操作をする よごれをふきとる つまりを取り除く 販売店に点検・修理を依頼する 安全装置が作動したときの処置方法により処置する 販売店に点検・修理を依頼する 折れ、曲がりをなおす 新しいゴム管と交換する 確実に接続する バーナボディに正しく取り付ける 販売店に点検・修理を依頼する 販売店に点検・修理を依頼する 新しい電池と交換するか、正しく取付ける ロックを解除する	6 11 1 3 1 7 10 10 1 12 1 6 6 6 10 1 1 1 6 6

●あわかりにならないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

### 安全装置が作動したときの処置方法

#### 1 使用中バーナの炎が消えたときは

立消え安全装置が作動して自動的にガスは止まりますが、完全に止まるまで少し時間がかかります。バーナの消火に気づいたときは、すぐに点火ボタンを押して消火の状態にしてください。

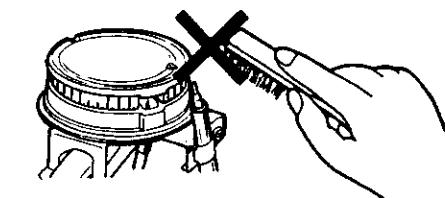


#### 2 再点火するときは

周囲に生ガスがなくなるまで、換気などしてから、点火してください。

#### ご注意

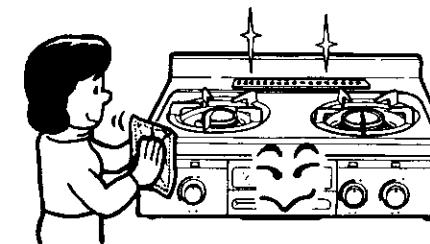
- 立消え安全装置の炎検出部やその付近の炎口に水滴や煮こぼれが付いたときは、すぐにふきとってください。そのままですと、点火に時間がかかることがあります。バーナの消火に気づいたときは、すぐに点火ボタンを押して消火の状態にしてください。
- 鍋の底に付いた水滴はふきとつからせてください。
- 炎検出部の先端を固いブラシなどでみがかないでください。故障の原因になります。



- 炎検出部に固いものなどをぶつけないでください。取り付け位置がズレると点火しにくくなります。
- バーナの炎は全周均一に出ていることを確かめてください。特に炎検出部付近の炎口が煮こぼれなどでつまっていると、点火しないことがあります。

### 長期間使用しない場合

- ゴム管を取りはずし、元栓側、器具側ともゴム管口にごみやほこりなどが入らないよう、キャップなどをしておいてください。また、乾電池も必ず取り外しておいてください。
- 器具は汚れをきれいに取り除き、ほこりやごみなどが入らないよう、ビニールをかけて、お買い求めになったときの箱などに入れ、湿気のないところで保管してください。

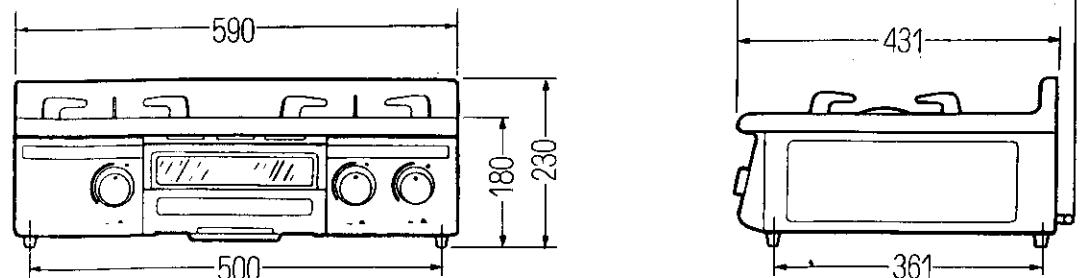


# 仕様

## ■仕様表

品名	グリル付き二口こんろ(日立ガステーブル)					
形式の呼び	GHG-3FD(触媒フィルター付)		GHG-3FE			
種類	ガスグリル付き二口こんろ					
点火方式	連続放電点火					
安全装置	立消え安全装置					
外形寸法	高さ230mm×幅590mm×奥行462mm					
重量	10.9kg	10.8kg				
使用ガス	1時間当たりのガス消費量					
使用ガスグループ	全ガス消費量	左こんろ	右こんろ	グリル		
都市ガス用	4A	5,400kcal/h	1,800kcal/h	2,650kcal/h	1,800kcal/h	
	4B	5,640kcal/h	1,900kcal/h	2,880kcal/h	1,720kcal/h	
	4C	5,940kcal/h	1,980kcal/h	3,020kcal/h	1,800kcal/h	
	5A	5,840kcal/h	1,750kcal/h	2,850kcal/h	1,800kcal/h	
	5AN	6,000kcal/h	1,750kcal/h	2,850kcal/h	2,000kcal/h	
	5B	5,550kcal/h	1,800kcal/h	2,750kcal/h	1,640kcal/h	
	5C	6,100kcal/h	1,980kcal/h	3,020kcal/h	1,800kcal/h	
	6A	6,840kcal/h	2,000kcal/h	3,350kcal/h	1,800kcal/h	
	5C	6,080kcal/h	1,980kcal/h	3,020kcal/h	1,620kcal/h	
	6C	6,750kcal/h	2,200kcal/h	3,350kcal/h	1,800kcal/h	
	6B	6,750kcal/h	2,200kcal/h	3,350kcal/h	1,800kcal/h	
	7C	6,970kcal/h	2,270kcal/h	3,450kcal/h	1,860kcal/h	
	12A	7,230kcal/h	2,050kcal/h	3,820kcal/h	1,680kcal/h	
	13A	7,760kcal/h	2,200kcal/h	4,100kcal/h	1,800kcal/h	
LPガス用	0.621kg/h	0.176kg/h	0.305kg/h	0.140kg/h		
				呼び寸法 9.5mm LPガス用ゴム管		

## ■外形寸法図(単位:mm)



# アフターサービス

## サービスを依頼される前に

- 11ページ「異常または故障の場合の処置方法」項を見て、もう一度確認してください。確認のうえそれでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご依頼ください。
- アフターサービスをおしつけいただくときには、次のことをお知らせください。  
(1)品名……日立ガステーブル (3)現象……できるだけ詳しく  
(2)形式の呼び……GHG-3FD・GHG-3FE (4)道順……付近の目印も

## 転居される場合

- ご転居によりお買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もつて販売店にご相談ください。  
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。  
なお、この製品はガス種が変る場合は、改造や調整が必要となりますので、転居先の販売店にご相談、ご用命ください。(改造や調整は有料です)

## 保証について

- この商品は保証書付きです。  
保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買上げの日から1年間です。  
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。  
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

## 補修用性能部品の最低保有期間にについて

- ガステーブルの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。  
この期間は通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は、その他お困りの場合は、お買上げの販売店  
か別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。